

# こども解熱坐薬 (販売名：キオリトル)

小さなお子さまにとって、発熱は最も一般的なかぜの症状です。また、夜中や外出先などで思いがけない時に熱を出したりします。キオリトルは、このような時のお子さまの熱を効果的に下げ、しかも胃への負担が少ないお薬です。吐き気があったり、せきこんだりして薬が飲めない時にも適しています。

## ⚠ 使用上の注意

本剤は小児用ですが、解熱薬に定められた注意事項として成人が使用される際のことも記載しております。

### ❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

#### 1. 次の人は使用しないでください

- (1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。  
(2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を使用してぜんそくを起こしたことがある人。

#### 2. 本剤を使用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

#### 3. 使用前後は飲酒しないでください

#### 4. 長期連用しないでください



### 相談すること

#### 1. 次の人は使用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。 (4)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。  
(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。 (5)次の診断を受けた人。  
(3)高齢者。 心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

#### 2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症状	関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ	精神神経系	めまい
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振	その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群(スティーブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死融解症、急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしただけでも息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をすするときぜーぜー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
腎障害	尿量減少、発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。

#### 3. 1回使用して症状がよくなる場合は使用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

1個(950mg)中

## 【成分・分量】

成分	分量	作用
アセトアミノフェン	100mg	熱を下げます

添加物として、ハードファットを含有します。

## 【効能・効果】



小児の発熱時の一時的な解熱



次の量を、肛門内に挿入してください。【用法・用量】

年齢	1才未満	1才～2才	3才～5才	6才～12才
1回使用量	使用しないこと	1/2～1個	1個	1～2個
1日使用回数	使用しないこと	1回	1回	1回

- (1)本剤の使用は1日1回とし、2日続けて使用しないでください。(2)定められた用法及び用量を厳守してください。
- (3)小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。(4)肛門にのみ使用し、内服しないでください。

### ●坐薬の使い方 なるべく排便後に使用してください。

1個分をミシン目にそって切り離し、上部のはなれている部分を引きはがして坐薬を取り出します。



手の平で少し暖めてから肛門内に挿入してください。

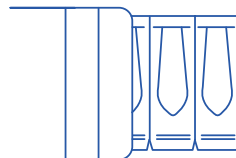


1/2個の場合は、カッター等で斜めの線にそって切り、使用してください。



## 【保管及び取扱い上の注意】

- (1)直射日光の当たらない30℃以下の涼しい所に、図のように坐薬の先端を下に向け、立てて保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。  
(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4)使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。



本剤について、何かお気付きの点がございましたら、お買い求めのお店又は下記までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

問い合わせ先 **宇津救命丸株式会社 お客様相談室**

**03-3295-2681** (平日9:00～17:00)

発売元 **宇津救命丸株式会社** 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-3

製造販売元 **樋屋製薬株式会社 大阪工場** 〒574-0014 大阪府大東市寺川3-3-63